

対話 in 京都女子大 2017 のアンケート集計結果

参加学生 13 名中アンケート提出者 13 名

学部： 社会学 12、 文学 1

学年： 3 回生 13

進路： 就職 12 、 無回答 1

職種（複数回答）：電力 1、公務員 1、メーカ 4、教育機関 1、その他 7、無回答 2

（１） 講演の内容は満足のものでしたか？その理由は？

とても満足した： 9、 ある程度満足した： 3

理由 ◎重要な部分を分かり易くピックアップして教えて頂けたから。

◎曖昧な知識を整理することができた。専門家ならではの話が聞けた。

◎授業では聞けない社会のことを知れたからです。

◎原子力の抱えている問題について、詳しく知ることができた。

◎充実した理解しやすい資料と説明で、分かり易かったから。

◎いつもはネットでしか得られないことを実際に専門の方から聞くことができたからです。

◎詳しい説明や聞いたことのなかった話を聞けたのが良かったです。

◎教科書や授業などで聞くことのないことを教えて頂けたから。

◎内容が充実していたから

○やはり難しく、固い感じがしました。ですが、その後の対話で非常に親しみやすくお話しして頂いたので、理解が深まり、非常に満足しました。

○最後のページまで聞けなかったところがあるため。

（２） 対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？

とても満足した：12、 ある程度満足した：1

理由 ◎疑問に思っていたことが具体的に分かったから。

◎シニアとの距離が近い分、気軽に話すことができたから。

◎まず、話をよく聞いて下さるので、それがとても嬉しかったです。私の意見に対して、真摯に答えて頂いてとても嬉しかったです。

◎原発のことだけではなく、メディアがどのように伝えているのが良く

分かったから。

◎原子力の話だけでなく、今後の日本の未来についてもお話しいただき
為になった。

◎たくさん話を聞いてくれたり、私の知らない話をしてくれたから。

◎本当のことが分かったのでよかったです。

◎分からない内容を分かり易い言葉で話して下さったからです。

◎疑問点をすぐにきけて満足いくまで質問できたのが良かったです。

◎1問1問、すごく詳しく説明して頂けたのでとても満足しました。

◎自分が今まで考えていなかった視点を知ることができたため。

◎疑問点が質問により解決したから。

◎知識を増やすことができた。正しいことは何なのかを知れた。

(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？

十分聞くことができた：4、ある程度聞くことができた 5、あまり聞けな
かった：2、全く聞けなかった：1、無回答：1

◎疑問点をすぐにきけて満足いくまで質問できたのが良かったです。

◎1問1問、すごく詳しく説明して頂けたのでとても満足しました。

◎対話で答えて頂きました。

◎議論（対話）の時間が長かったから。

○もっと聞きたいと思ったからです。

○報道や教育に興味があったので知らない知見を得られた。

○聞きたいことが少なかったのですが、たくさん話が聞けました。

○質問を元に話し合いができたので良かったです。

△逆質問が多かったため。

△なかなか対話に入るタイミングがつかめず、グループの中で平等に意
見を言えていなかった。

×皆がとても意見や疑問点を言っていたため。

(4) 今回の対話で得られたことは何ですか？（複数回答も可）

新しい回答が得られた：13（全員）

マスコミ情報と今回の対話会情報に違いがあった：10

自分の将来の進路の参考になった：2

教育指導の参考になった：2

特に新しい知見は得られなかった：0

(5) 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？
その理由は？

非常にある：9、 ややある：4

- 理由 ◎価値観が多様だと思ったから。学生だけでは得られない情報がたくさんあった。
- ◎専門的なことを教えて頂けるのですごく良い。
- ◎年代を超えて情報や意見を共有することは大切だと思うし、その方が若い立場からすると勉強になりました。
- ◎話を聞けたので、少し将来の進路の参考になりました。
- ◎私たちの考えと差があり、自分の知識の不十分さを感じた。
- ◎学生の考えている事とシニアの方の考えている事は全く違っていて、参考になったから。
- ◎非常にあると思います。一方的な講演で終わってしまえば、せっかくの学生の疑問がそこで終わってしまい、そこに正しい情報を得る機会があるのに、その機会を潰してしまうからと思うからです。
- ◎受けてきた教育量や知識量の差が多く、幅広いことが学べる。
- ◎シニアの方々でないと伝えられない情報があると感じた。
- ◎普段、マスコミやネットからしか情報を取り入れることができないため。
- ◎私たち学生には得られていない知識を得ることができるため。
- ◎原発のことを知らない学生は多くいるため。

(6) 今後、機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？

まだまだ話したりないので参加したい：5

もっと知識を増やしてから参加したい：6

十分話ができたらもういい：1

二度も必要ないと思うからもういい：0

無回答：1

◎今回、聞きたいと思ったことはおおむね聞けましたが、楽しかったので、

またぜひ参加したいと思います。

(7) 放射線、放射能に対してどのようなイメージを持っていますか？(複数回答も可)

一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演、対話から理解できた：10

一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた：6

放射線、放射能は生活に有用であることを前から知っていた：2

放射線、放射能はやはり怖い：0

(8) 日本のエネルギー政策では、原子力発電を基幹電力（2030年に発電電力量の20～22%）とし、省エネ・再エネ利用の拡大や火力の高効率化により、可能な限り削減していくとされています。対話も含めてあなたの認識は次のどれですか？その理由は？（複数回答も可）

原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない：11

原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ：2

原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えばよい：1

原子力発電の必要性は分かっていたので、対話の前後で認識は変わらなかった：0

◎原発はきちんと利用すればよいものだと思うから。

◎危なくないと言うことを広めていけば削減する必要はないと思う。

◎日本に原子力発電がなくなると、戦争をしている国などから得ないといけなくなり、衰退すると思うから。

◎正しい知識を国民に理解してもらい、撤退すべきではないと思ったからです。

◎これからの日本のエネルギーのことを考えた時、原発のリスクは（確かに怖い部分がない訳ではないが）それほど大きなものではない。（エネルギー問題の方がリスク大）

◎もっと国民が原発について勉強する必要性を実感すると思うから。

◎原発事故が起こる確率は思っている程高くないことが分かったため。

◎原子力の事故は生活に支障がでるが、それ以上に原子力がなくなれば
経済に影響が出るから。

△話を聞いて、すぐにはどれと決められない。

×原子力が一定レベルまでは危険ではないことは分かりますが、やはり
少し抵抗があります。

(9) 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- ・今回の企画を通じて様々な知識を得ることができ、今後これを生かし考えていきたい。
- ・すごく有意義な時間を過ごすことができ、もっとこのような機会が増えたら良いと心から思いました。
- ・自分が学ばなければならないことの多さを実感しました。
- ・原発が危なくないという事や、必要性は大いに分かったけれど、やっぱりメディアなどで植え付けられた情報もあるせいか、やはり少しは怖いと感じてしまうところがあります。これに参加する前は、実はなんで土曜日に学校行かないといかんねん！って思っていたんですが、話もとてもおもしろくて、根拠のある情報をとり入れることができ、今日来て良かったなって思いました。
- ・シニアの方々の年齢と見た目がまったく違いました。すごく若々しく、お話もおもしろかったし、楽しかったです。
- ・SNSで情報発信していただけたら、必ず支持してくれる人が出て来ると思いますが、私も1年に1回の対話以上に普段から勉強できると思いますし、価値観も変わってくる人々が現れると思います。多分、今回のような対話にも参加したいと思う人が多くなるのではないかと思います。私はそれくらい楽しく勉強になる対話でしたので、ぜひこれからの活動を頑張ってくださいと思います。（もし、SNSをおやりになられるのであれば、ぜひフォローしたいと思います）
- ・対話をローテーションにして、シニア全員の方の話が聞きたいです。
- ・とても、来て良かったと思いました。来年があればまた参加したいです。ありがとうございました。

所感

今回の対話は、1、2部の講演後、参加学生が13人ということで、3グループに分けて行い、水野先生は各グループを回られました。

対話の時間が1時間45分も取れたこともあり、学生側の質問も多くでき、シニアの回答も丁寧にできたことがアンケート結果からも伺えます。

懇親会で「京都女子大の学生さんの特徴は」と尋ねたところ、すぐに「真面目」との回答がありましたが、アンケートの回答を丁寧に書いてくれていること、回答の内容もきちんと考えて自分の言葉で書いていること、など「真面目」という面が素直に出ているアンケートだと感じました。

2016年度のアンケートで、今後も参加したいという回答が4件ありましたが、今年度も参加してくれた学生さんは1人でした。今年度のアンケートでは、今後もまた参加したい人が5人いました。来年度にも参加してくれる学生さんがいることを期待しています。